

RCJS-5-1:2010 の正誤表

ページ	誤	訂正
5	<p>3.18.2 静電気放電遮へい(シールド) (electrostatic discharge shielding)</p> <p>静電気放電によるエネルギーを減衰させ、電流の流れを制限するバリアー又は包装。 例えば, 1,000V の人体モデル放電による最大エネルギーの伝達量を, 50nJ 以下にする。附属書 A.5 参照。</p>	<p>静電気放電によるエネルギーを減衰させ、電流の流れを制限するバリアー又は包装。 1,000V の人体モデル放電による最大エネルギーの伝達量を, 50nJ 以下にする。附属書 A.5 参照。</p>
31	<p>A.1.4 袖-袖間の試験手順</p> <p>d) 試験電圧は, 最大 100V を 15 秒間, または, 読み取りが安定するまで加えて, 結果を記録する。</p>	<p>d) <u>100V の試験電圧を, 最大 15 秒間</u>, または, 読み取りが安定するまで加えて, 結果を記録する。</p>
32	<p>A.1.5 点間試験手順</p> <p>e) 試験電圧は 100V を最大 15 秒間, または, 読み取りが安定するまで加えて, 結果を記録する。</p>	<p>e) <u>100V の試験電圧を, 最大 15 秒間</u>, または, 読み取りが安定するまで加えて, 結果を記録する。</p>
50	<p>A.4.4.4 例</p> <p>表 A.4.2 から計算された平均容量と標準偏差は, 次に通りにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> — 容量 (C) =47.33 pF — 標準偏差 = 0.206 pF 	<p>表 A.4.2 から計算された平均容量と標準偏差は, 次に通りにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> — 容量 (C) =<u>17.35</u> pF — 標準偏差 = <u>0.19</u> pF
56	<p>図 A.5.2</p> <p>ポリカーボネート又はアクリルのような絶縁裁量</p>	<p>ポリカーボネート又はアクリルのような絶縁材料</p>
57	<p>A.5.3 ESD シールド試験装置の波形検証手順</p> <p>e) 必要ならば, ESD シールド試験装置の電圧レベルを 0.5A±10%のピーク電流(Ip) が得られるまで調節する。この電圧レベルは, 1,000V の放電レベルと等しいことを示している。これは, A.5.2.5 で使用する電圧レベルである。</p>	<p>e) 必要ならば, ESD シールド試験装置の電圧レベルを 0.5A±10%のピーク電流(Ip) が得られるまで調節する。この電圧レベルは, 1,000V の放電レベルと等しいことを示している。これは, <u>A.5.5</u> で使用する電圧レベルである。</p>
63	<p>JB.5.1 試験前コンディショニング</p> <p>A. 12 日間, 71°C±3°C (160°C±5°F) 環境下に均一に維持された空気循環オープンに放置する。</p>	<p>A. 12 日間, 71°C±3°C (160°<u>F</u>±5°F) 環境下に均一に維持された空気循環オープンに放置する。</p>

70	衣類 5.2.5 ・衣類のすべての部分は電氣的に連続であり，衣類の表面特性は，表 1 に適合しているか ($1 \times 10^5 \leq R_p \leq 1 \times 10^{11} \Omega$) ?	・衣類のすべての部分は電氣的に连续であり，衣類の表面特性は，表 1 に適合しているか ($1 \times 10^5 \leq R_p \leq 1 \times 10^{11} \Omega$) ?
----	--	--